

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成28年3月作成

指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

1 絵本の充実と整備

<p>施策・方針</p>	<p>ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手にとって見ることができ環境の整備を行います。</p> <p>イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。</p>
<p>平成27年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所・幼稚園では図書購入費として消耗品費の増額を行い、各施設おおむね図書10冊購入に努めました。 ・各部屋の絵本コーナーには年齢に応じた絵本を置くとともに、他のあそびの影響を受けずじっくりと絵本を見ることができるよう、つい立てやソファの設置等各施設で環境を整えるなどの工夫を行いました。 ・子ども・子育て支援新制度により新たに市が認可した地域型保育事業実施の2施設に対して、図書館の団体貸出制度の紹介を行い、周知を図りました。 ・図書館訪問を行った保育所〔園〕・幼稚園は11施設で、そのうちマイクロバスを利用し図書館訪問を行った施設が1施設ありました。また、移動図書館を利用した施設は7施設でした。
<p>平成28年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、各施設図書10冊分の購入財源の確保を引き続き行います。 ・各保育室に設置した絵本コーナーに、季節の絵本や保育の活動内容に関連した絵本を工夫して置き、子どもと絵本の出会いを充実していきます。 ・市のマイクロバスを利用し図書館利用の推進を図るとともに、団体貸出の周知に努めます。

2 読書活動推進のための取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法を学ぶ研修の機会をもちます。</p> <p>イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。</p> <p>ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。</p>
<p>平成27年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内や市内で開催される絵本に関する研修会や講演会の案内を行い、積極的に参加を呼びかけ、延べ82名の参加がありました。 ・職員向けの研修を実施した施設は5施設、保護者向けの研修を実施した施設は4施設でした。 ・本年度も昨年度同様、こども支援センターかがやきとマイ保育ステーションでは在宅家庭の親子に絵本の読み聞かせを行いました。 ・ブックスタートの参加者数の向上のため、開催場所を保健センターから赤目保育所内マイ保育ステーションへ変更しました。1月末時点での参加人数は331名です。 ・本年度も幼児・乳児各主任会で絵本に関する情報交換を年5回実施し、年齢に応じた絵本の選び方や活用の仕方等を学び合い、保育のスキルアップを図りました。 ・親子読書の推進を図るために、園だよりやクラス懇談会の機会を利用し絵本の紹介を行った施設は12施設でした。 ・ボランティアによる読み聞かせを実施した施設が6施設から7施設と1施設増加しました。
<p>平成28年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士のスキルアップを図るための研修会を年1回実施するとともに、他の機関が実施する研修の案内を積極的に行います。 ・年齢別担当者研修会では年齢に応じた絵本の選び方や保育での活用方法等学び合い、保育の質の向上を図ります。 ・園だよりやクラス懇談会を利用して年齢や発育に応じた絵本を保護者に紹介し、親子読書の推進に努めます。 ・市立図書館と連携して保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受け入れを進め、読み聞かせの時間の充実を図ります。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成28年3月作成

指針2：小・中学校における読書活動の推進

1 学校図書館の資料の充実

<p>施策・方針</p>	<p>ア 国の平成24年（2012年）度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを旨とし、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保していくよう努めます。</p>
<p>平成27年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館活性化事業」を行い、資料を充実させ、学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として機能させる等、読書活動の推進と学校図書館の充実へ向けての取組の支援を行っています。（モデル校：薦原小、つつじが丘小、すずらん台小、名張中） ・図書館教育担当者会において、市立図書館の団体貸出の利用を呼びかけました。 ・平成27年5月現在、学校図書館図書標準の達成率ごとの学校数は、小学校は25～50%未満が1校、50～75%未満が11校、75～100%未満が1校、100%達成が1校でした。中学校は25～50%未満が2校、50～75%未満が2校、75～100%未満が1校、100%達成が0校で達成率は伸び悩んでいます。
<p>平成28年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度末に学校図書館図書標準達成率100%の学校の割合が目標値に達するために、図書購入予算の確保等、資料の充実に向けて取り組みます。 ・分類ごとの蔵書比率に鑑み、必要に応じて選書についてのアドバイスをを行い、適切な購入を進めます。 ・「学校図書館活性化事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、授業等で資料を有効に活用できるように支援を充実します。 ・市立図書館と連携し、団体貸出の利用を進めます。

2 人的体制の整備

<p>施策・方針</p>	<p>ア 学校図書館支援員を引き続き配置し、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行います。</p> <p>イ 子どもと本のつなぎ手となる学校図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむけての検討を積極的に行います。</p> <p>ウ 「名張市教育センター」の機能を活用し、各学校の司書教諭等と連携しながら学校図書館の充実に向けた支援の体制づくりをすすめます。</p> <p>エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。</p>
<p>平成27年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月1日に学校図書館法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、学校図書館支援員を学校司書として位置づけ、3名が市内19校の小中学校を巡回して、全ての学校において図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行いました。 ・6月に学校司書、学校図書館ボランティア、保護者を対象にした、「子ども読書活動推進、図書館ボランティア研修講座」を実施しました。研修会后、講師の正置友子さんにも参加いただき、第1回図書館ボランティア交流会を実施しました。9月には、学校図書館ボランティアと学校司書、司書教諭が「学校図書館の役割とその活用について」とともに学ぶ研修会を実施しました。 ・学校図書館ボランティアの活動の充実を図るため、「学校図書館ボランティアの手引き」「読み聞かせ」おすすすめ2015」を作成し、第1回図書館ボランティア交流会の際に、配付しました。 ・三重県教育委員会主催の「高校生ビブリオバトル」の参加（観戦）や学校図書館協議会主催の講演会、研修会へ参加し、学校司書のスキルアップを図りました。 ・司書教諭等と学校司書とが連携して取り組んできた、図書館資料の管理や図書館の環境整備・運営、児童生徒や教職員に対する情報サービスや読書推進活動、教科や特別活動等教育指導の支援等について、図書館教育担当者会において情報交換を行いました。（3回）
<p>平成28年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修会等に参加する等、学校司書のスキルアップを図ります。 ・学校司書が、学校図書館活性化事業モデル校4校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組（子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活発化等）を行います。 ・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアがともにスキルアップするために、合同研修会を年間1回は実施します。 ・広報により学校図書館ボランティアを募集し増員を図ります。 ・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回設け、活動の幅を広げることに努めます。また、学校図書館ボランティアの手引きを活用し、活動の充実を図ります。

3 読書活動推進のための学校の取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。</p> <p>イ 読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらきかけるとともに、PTAとも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会で開催します。</p> <p>ウ ^{ウチドク}家読の推進が図られるよう支援します。</p>
<p>平成27年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料のデータベースを活用して、すべての学校においてバーコードによる貸出が実用化できました。(小学校14校、中学校5校)また、貸出密度や分類ごとの蔵書比率を把握し、学校図書館の運営や資料の充実に活かしています。さらに、学校司書と連携して、必要な資料を他校から借用し、児童生徒の学習に活かすことができます。 ・PTAと連携し、学校図書館の環境整備や図書の充実、研修会の開催等、児童生徒の読書活動を支援しています。(小学校9校) ・「うちどくのスズメ」を記載したたよりを全校児童生徒を通じて家庭へ配布し、家読の推進を図りました。毎学期「としよだより」を全校児童生徒に配布し、読書活動の推進に努めています。(小学校14校、中学校5校)
<p>平成28年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう各学校で年間指導計画を作成します。 ・教育センターとして、PTA等に後援いただき保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回は実施します。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成28年3月作成

指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進

1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	<p>ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。</p> <p>ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。</p> <p>エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</p> <p>オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どもたちのための外国語の図書の充実に努めます。</p> <p>カ 以上のことを実現するための予算の確保に努めます。</p>
-------	---

平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書冊数に占める児童書の割合 22.3%(児童書:13.0% 絵本:8.7% 紙芝居:0.6% 児童参考書:0.1%) ・受入冊数に占める児童書の割合 19.0%(児童書:11.9% 絵本:6.5% 紙芝居:0.1% 児童参考書:0.4%) ・平成27年度資料購入費(日本図書館協会公共図書館調査票の区分) 資料費:7,538,618円(内、図書費:6,563,310円 雑誌新聞費:951,239円 視聴覚資料費:24,069円) <p style="text-align: right;">(平成28年1月末現在)</p>
----------------	--

平成28年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値に近付けるよう、児童書の購入に努めます。 ・長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。 ・上記の取組が可能な予算(平成27年度図書費予算額以上)を確保します。
------------------	---

2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービスに関する知識や技術の蓄積に努めます。</p> <p>イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう努めます。</p> <p>ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネートを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるように支援に努めます。</p>
-------	--

平成27年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センター主催の図書館ボランティア研修講座(「子どもたちと絵本の扉を開く」正置友子さん、「学校図書館の役割とその活用について」塩谷京子さん)に協力しました。 ・「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」の巡回を受け入れました。(1月23日開催) ・「おはなしフェスティバルin名張」の実行委員としてイベントの運営に協力しました。 ・児童サービス担当司書を配備しました。
----------------	---

平成28年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加するとともに、おはなし会ボランティアへの情報提供に努め参加を促します。 ・関係機関と連携して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を2回程度開催します。 ・図書館業務受託事業者と連携して、児童サービスに関する知識や技術を高めていきます。
------------------	---

3 地域における子どもの読書活動推進のための取り組み

<p>施策・方針</p>	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
<p>平成27年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けに図書を紹介する児童特集展示を行いました。(22テーマ、延べ展示冊数:3,234冊、延べ貸出冊数4,380冊) ・おはなし会等を実施しました。(延べ62回、771人参加) ・子ども読書の日関連行事として拡大版おはなし会を開催しました。(4月19日開催:30人参加) ・保育所〔園〕の図書館訪問を受け入れました。(延べ15回) ・第8回なばり本の帯コンクールを共催しました。(応募点数:562点) ・教育フォーラム会場及び図書館ロビーで本の帯コンクール入賞作品を展示しました。 ・ブックスタート(事業の説明、読み聞かせ)を実施しました。(322人参加) ・保育所〔園〕・幼稚園等への団体貸出冊数:1,137冊 <p style="text-align: right;">(平成28年1月末現在)</p>
<p>平成28年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問を積極的に受け入れ、その機会を利用するなどして団体貸出の利用を勧めます。 ・児童サービス担当司書が中心となり、おはなし会等の子ども向けの催しを実施し、子どもの読書活動の推進に努めます。 ・子ども向けの催しに共催や後援を行うなどして積極的な支援に努めます。

4 市立図書館による学校図書館支援

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ M I L A I に参加している県立高校図書館との相互協力に努め、また、M I L A I に参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
<p>平成27年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学(小学校7校)、職場体験(中学校4校)、高校(1校)を受け入れました。 ・小中学校への学校図書館支援を実施するにあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定しました。 ・小中学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせ等を行いました。(訪問回数:延べ21回) ・小中学校への団体貸出冊数:2,404冊 ・県立高校への団体貸出冊数:300冊
<p>平成28年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設見学、職場体験を受け入れ、その機会を利用して子どもの読書活動の推進に努めます。 ・学校図書館支援を実施するにあたっては、小中学校との連携を密にし進めます。 ・中学校への学校図書館支援のあり方について検討します。 ・図書館教育担当者会や小中学校への学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用促進に努めます。

1 指針1:家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進について

- ・公立保育所、幼稚園以外の民間の保育園の実施状況についても具体的に記述していく方向で検討されたい。
- ・各施設10冊の図書購入に努めているところということであるが、次年度に向けて達成率を把握しておく必要がある。
- ・子どもたちが自由に本を手にとったり、読み聞かせてもらう空間は重要である。絵本コーナーの環境をますます充実するよう期待する。

2 指針2:小・中学校における読書活動の推進について

- ・学校図書館図書標準達成率の低い学校と高い学校があるが、その要因を把握し、検証していく必要がある。施策・方針の目標値達成はハードルが高いが、まずは全ての学校の学校図書館図書標準を50%以上にできるよう最大限の努力は必要である。
- ・委員の報告にあったように、平成19年名張市立学校図書館充実事業が始まったころと比べて、学校図書館の様子は、ずいぶん変わってきた印象がある。先生方の意識変革がとても大事で、それによって少しずつ動いてきたのだと感じる。依然として蔵書については大きな課題である。思い通りの成果が上がらなくても努力を続けなければならない。
- ・努力の成果を見るために、各校の貸出密度を明らかにし、変化を把握する必要がある。岡山では重点的な取組で貸出密度は年間100冊を超える。学級文庫の本などを読んだ場合、貸出密度として計上されない部分はあるにしても、目安として数値を明示されたい。
- ・伊勢市、多気町、津市など学校司書を配置したところはどこも好評である。名張市でも仄聞するところでは、学校司書の配置を喜んでくれている。しかしながら、人数も活動時間も名張市はまだ少ない。学校司書は本と子どもとの溝を埋め橋をかける大切な役割を担っている。三重県全体が、積極的な活動拡大の時期であるので、機を逃さず、学校司書が活躍できるようサポートしていく必要がある。
- ・図書よりは内容が面白く、好評である。
- ・「3 読書活動推進のための学校の取組」の実施状況に、バーコードリーダーによる貸出が全小中学校でできていることをはじめとする委員会活動の活性化や、学校司書による読み聞かせや授業等への支援、地域在住の講師を招いてのアニメーション等、学校の取組の紹介が記述できるとよかった。今後の計画の課題として挙げておく。

3 指針3:市立図書館における子どもの読書活動の推進について

- ・児童サービス担当司書はChildren's Librarianの訳であり、一般の司書とは別のスキルをもって子どもたちにサービスを提供する専門的な司書のことで、こういった人の確保ができた。今後は、カウンターから出て、子どもとコミュニケーションをとりながら適切なサービスをするといったフロアワークの積極的な展開や、季節に応じた絵本や紙芝居などを紹介するリーフレットなどレファレンスツール作成などを担うようになると変わってくるのではないか。
- ・蔵書冊数に占める児童書の割合を25%にするという目標値はかなり高い。厳正に選書した結果の数値は仕方がないが、受入冊数に占める児童書の割合を上げる努力は必要である。

4 全体を通して

- ・子ども読書活動推進計画による取組が動いてくると、現実の厳しさがよくわかる。平成29年度で五か年の計画が終了する。目標達成に向けて検証し、第三次推進計画の必要性や体制を検討して行く必要がある。